

# ゴム・エラストマー材料の 種類・特性と混合・配合・加工技術

～材料選定から、環境配慮を目指す開発技術～

◆日時: 2026年03月23日(月) 13:00～17:00

◆会場: 【WEB限定セミナー】※在宅、会社にながらセミナーを受けられます

◆聴講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき**46,200円(税込)**・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,500円(税込))**

## セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

### ●講師: テクノリエゾン事務所 代表 今井 昭夫 氏

日本の産業経済構造・事業環境の変化により、製造業企業には新規製品・新規事業の開発を伴う事業変革が求められている。また、地球温暖化防止や省資源・省エネルギーの観点から樹脂・ゴムなどの高分子素材についても見直しの機運が高まっている。材料開発検討のためには、既存の材料についての基礎的な知識や情報を包括的に把握することが必要であり、工業的に実用化されている各種ゴム・エラストマー材料についても総合的に理解する必要がある。本講座は初心者にも理解できるように 基礎的な知識・情報を整理して提供し、更に既に実務上でゴム・エラストマー材料を取り扱っている技術者にとっても、最近の環境配慮材料の開発に必要な知識・情報を再整理できるように構成した。

#### 1. ゴム・エラストマー素材とは

1-1 ゴム素材の開発技術の歴史: ポリマー合成と加硫、カーボンブラック補強

1-2 ゴムとプラスチック: 物理的性質の温度依存性

1-3 ゴムとエラストマー: 生ゴム(エラストマー)と加硫ゴム

#### 2. ゴム素材の種類と性質

2-1 ゴム品種のIISRP命名法

2-2 汎用ゴム (天然ゴム、スチレン・ブタジエンゴム(SBR)、  
ポリブタジエンゴム(BR) エチレン・プロピレンゴム(EPM, EPDM))

2-3 特殊ゴム (クロロプレンゴム(CR)、アクリルゴム(ACM)、その他 特殊ゴム)

#### 3. 熱可塑性エラストマーの種類と性質

3-1 ブロック共重合体エラストマー、オレフィン系エラストマー、

その他の熱可塑性エラストマー

#### 4. 充填剤の混合と分散

4-1 混合・混練装置と分散の進行、カーボンブラックの分散とコンパウンドの性状

4-2 シリカの分散と分散助剤

#### 5. ゴム・エラストマーへの添加剤と配合

5-1 老化防止剤、オイルと可塑剤、その他の配合資材

#### 6. ゴム・エラストマーコンパウンドの加工成形

6-1 押出し成形、異形押出、圧縮成形、ロール成形

#### 7. ゴム・エラストマーの加硫(架橋)

7-1 加硫剤、加硫促進剤、加硫装置と操作

#### 8. 加硫ゴムの物性

8-1 引張強度、引裂き強度、耐摩耗性、耐屈曲亀裂性、防振特性

#### 9. ゴム・エラストマー分野における環境配慮技術

9-1 ゴム・エラストマー分野での3R(Reuse, Reduce, Recycle)、

9-2 バイオ由来原料からなるゴム・エラストマー素材の開発

9-3 加硫ゴム製品からの化学物質回収技術

### 『ゴム・エラストマー【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐ Eメール ☐ 郵送

#### ● Webセミナーの受講申込みにについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして、別途視聴用のURLをメールにお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>